慶應義塾大学　整形外科学教室から調査研究のお願い

平素より当学の研究にご尽力くださり、誠にありがとうございます。

この度は、脊髄損傷の方々の運動習慣（リハビリ・スポーツなど）の実態を明らかにする目的で、当教室で実施している調査研究に関しまして皆様の貴重なご意見をいただきたく、日本せきずい基金様のご協力のもと、ご協力のお願いを掲載させて頂きました。

脊髄損傷などで重度の障害をもち、活動量が低下すると、心臓疾患、代謝性疾患、褥瘡など様々な健康障害を生じさせ、時に再入院の原因となってしまうことが明らかとなっております。過去の調査によると、日本は諸外国と比較して、慢性期脊髄損傷者の方々における健康障害の発生率が高いことが分かっています。また、同様に日本で暮らす脊髄損傷の方々の生活満足度についても諸外国と比較して低く、健康被害を生じる頻度が強く影響していることがわかっています。健康二次被害の予防には継続的な運動・活動の実施が重要であると報告されていますが、脊髄損傷者の方々に対して十分に運動・活動の場が開かれていない本邦において、仕事・学業・家事などとの共存が難しいことが大きな課題となっています。

また、当学をはじめ近年臨床に届きつつある脊髄再生医療においても、過去の基礎研究の結果に基づき、再生医療単独ではなくリハビリ・運動の併用が重要視されつつあります。中でも、再生医療を受けるまでの期間に、身体機能を良い状態に少しでも近づけ、維持していくためのコンディショニング・リコンディショニングを実践することが非常に大切です。

上記の通り、健康二次障害の予防、再生医療を受けるための準備として継続的な運動習慣を皆様に広く提供できる社会の整備は、脊髄損傷者の方々にとって一つの喫緊の課題です。そのため、本調査を通じて、運動習慣を阻害している因子やその地域差など、詳細なデータを収集させていただくことで今後の課題解決の基礎データを構築してまいりたいと考えております。

《参加者募集用QRコード》

本調査研究の目的・意義にご賛同頂けましたら、

右のURLまたはQRコードよりご参加希望を

お知らせください。登録後、回答用のURLを

メールにてお送りさせて頂きます。

（回答期限：2025年1月31日まで）

※日本せきずい基金会員の方で案内ハガキが届いた方は

　同じ内容での募集となります。

URL: https://questant.jp/q/kosci2024

※同会員様以外の慢性期脊髄損傷者の方の回答も

受け付けております。

なお、調査にお答えいただいた際は、ささやかではありますが、謝礼（1,000円相当）もご用意しております（先着900名）。

また、ご回答いただきました個人情報等については、当学の研究倫理委員会に認められた. 方法で匿名化した状態で適正に取り扱います。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご回答いただけますよう心よりお待ち申し上げております。

慶應義塾大学　整形外科学教室 中村雅也・大川原洋樹

E-mail: keio.orthopedics.sawada.okawara@gmail.com

\*本調査に関連しないお問い合わせはご遠慮ください